

授業科目 NO. 403 基礎看護技術論Ⅲ (健康援助技術)

Fundamental Nursing Skills III (Health Care)

授業の形態： 演習

単位数(時間数)： 2単位(60時間)

開講年次・学期： 2年次・前期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 安全、医療事故、ヒューマンエラー、感染予防
検査、治療、看護技術、死、看取り

1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標 (GIO)

看護のプロセスとその環境における安全を脅かす要因を理解し、安全対策を講じるための方法を修得する。

患者が安全で安楽に診療を受けられるよう検査・治療に関する看護技術を修得する。また、死への看取りの看護について学ぶ。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 看護における安全の必要性和意義が説明できる。(②)
- (2) 看護場面における事故防止のための対策について説明できる。(②)
- (3) 基礎看護技術における危険予知の必要性について説明できる。(②)
- (4) 感染成立の基本的内容が説明できる。(②)
- (5) 医療施設関連感染のリスク因子、主な起因菌、感染経路について説明できる。(②)
- (6) 感染防止策について説明できる。(②)
- (7) 検査・治療に関する各看護技術の危険性と危険と判断するための知識が説明できる。(②)
- (8) 与薬の投与方法と各投与方法における薬物動態、6Rについて説明できる。(②)
- (9) 酸素療法、口腔・鼻腔内吸引の目的と方法について説明できる。(②)
- (10) 浣腸、排便や一時的導尿の目的と方法について説明できる。(②)
- (11) 死亡による身体的変化を理解し、死後の処置について理解できる。(②)
- (12) 基本的な感染防止行動として滅菌手袋の装着・衛生材料の取り扱いが実施できる。(②)
- (13) 手指衛生の5つのタイミングを説明できる(②)
- (14) 酸素吸入、酸素ボンベの取り扱いについて説明できる。(②)
- (15) モデル人形を用いて、口腔内・鼻腔内吸引が実施できる(②)

- (16) 注射モデルを使用して、筋肉内注射が実施できる。(②)
 (17) 注射モデルを使用して、静脈血採血が実施できる。(②)
 (18) モデル人形を用いて、滅菌操作を行いながら、一時的導尿が実施できる。(②)
 (19) グリセリン浣腸の取り扱いが実施できる。(②)
 (20) 検査・処置を受ける看護の対象の心情を考察できる。(①②)
 (21) 死にゆく人の尊厳をまもり、その人らしく旅立つための看護の役割について考察できる。
 (①②)

3 学 習 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	60%
実習成績	%
レポート	40%
授業態度	%
小テスト	%
その他(技術確認)	%
合計	100%

(特記事項)

- ・定期試験成績が6割に満たない場合は再試験対象とする。

5 教 育 担 当 者

科目責任者：松井 希代子

教 授	松井 希代子 (基礎看護学)
講 師	宮永 葵子 (基礎看護学)
嘱 託 講 師	杉森 千代子 (基礎看護学)
助 教	釜谷 友紀 (基礎看護学)
助 手	白藤 友紀 (基礎看護学)
師 長	日向 千恵子 (看護部)
看 護 師	中川 佳子 (医療安全部)
主 任	西岡 美保 (看護部)
非常勤講師	宮崎 彩乃

6 教育担当者の実務経験

教育担当者は、全員が看護師としての実務経験を有している。

7 教 科 書

- 1) 茂野香おる他：系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ，医学書院.

- 2) 任 和子他：系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ，医学書院。
- 3) 藤野彰子他：看護技術ベーシックス第2版，サイオ出版。
- 4) 川村治子：看護の統合と実践(2)，医療安全，医学書院，2014。

8 推薦参考書

- 1) 川村治子：医療安全ワークブック，医学書院，2013。
- 2) 本庄恵子・吉田みつ子監修：写真でわかる臨床看護技術1，インターメディカ。
- 3) 本庄恵子・吉田みつ子監修：写真でわかる臨床看護技術2，インターメディカ。
- 4) 医療情報科学研究所編：看護が見える vol.2 臨床看護技術 株式会社メディックメディア

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学習・事後学習として計45分程度必要です。

- ・講義には事前にテキスト範囲を熟読し、分からない言葉を調べた状態で、講義に参加する。
- ・演習には事前に講義内容を復習し、演習に参加する。
- ・事前・事後学修として、テキストのQRコードを読み込み、動画を視聴することで技術のイメージを付けたり、手順などの確認を行うこと。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- ・提出されたレポートについてコメントして返却する。
- ・試験に関しては、希望者には解説・正解を解説し返却する。

11 履修上の注意事項

- ・ここで扱う看護技術は、実習で体験できないものばかりです。そのため、よく見る、よく聞く、繰り返し練習していただきたい。演習の場が貴重な体験になることを期待します。
- ・講義も含め、グループで活動することが多いです。「おやっ」と素朴に感じたことを口にし、他者の意見に真摯に耳を傾けていただきたい。自分たちの手で、評価を受ける場ではなく、学修する場に変えていくことを期待します。
- ・講義10～13回目（野田課長・日向師長・中川看護師・西岡主任）では、資料は、講師が講義に必要とする場合のみ配布します。
- ・実習室、CSCでの演習については、事前学習を行い、身だしなみを整え、臨む。

12 オフィスアワー等

質問は随時可。事前に連絡をすることが望ましい。

- 松井：mkiyoko@kanazawa-med.ac.jp
宮永：aiko3000@kanazawa-med.ac.jp
杉森：sugimoli@kanazawa-med.ac.jp
釜谷：kamatani@kanazawa-med.ac.jp
白藤：syuki@kanazawa-med.ac.jp
宮崎：a-miya@kanazawa-med.ac.jp

第2学年

基礎看護技術論Ⅲ

SEQ	学期	回数	開講日		時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
1	前	1	4月10日	(水)	2	講義	ガイダンス 環境のさまざまな危険因子を避け、また他者を傷害しないようにする技術1 看護における安全の意義、医療事故、ヒューマンエラー		基礎看護学	松井教授
2	前	2	4月17日	(水)	2	講義	日本における医療安全施策の動向 看護職の法的責任、看護事故、事故防止策/エコーの技術	レポート	基礎看護学	宮永講師,松井教授, 白藤助手
3	前	3	4月24日	(水)	1	講義	患者の呼吸を助ける技術1 酸素吸入	レポート	基礎看護学	宮崎非常勤講師
4	前	4	4月24日	(水)	2	講義	患者の呼吸を助ける技術2 口腔内・鼻腔内吸引	レポート	基礎看護学	宮崎非常勤講師, 釜谷助教
5	前	5	5月01日	(水)	1	演習	患者の呼吸を助ける技術3 口腔内・鼻腔内吸引/課題(呼吸を助ける技術・滅菌物の取り扱い)	レポート	基礎看護学	釜谷助教, 松井教授, 杉森講師,宮永講師, 白藤助手, 宮崎非常勤講師
6	前	6	5月01日	(水)	2	演習	患者の呼吸を助ける技術4 口腔内・鼻腔内吸引/課題(呼吸を助ける技術・滅菌物の取り扱い)	レポート	基礎看護学	釜谷助教, 松井教授, 杉森講師,宮永講師, 白藤助手, 宮崎非常勤講師
7	前	7	5月08日	(水)	1	演習	環境のさまざまな危険因子を避け、また他者を傷害しないようにする技術2 滅菌物の取り扱い(滅菌手袋の装着, 衛生材料の取り扱い)	レポート	基礎看護学	釜谷助教, 松井教授, 杉森講師,宮永講師, 白藤助手
8	前	8	5月08日	(水)	2	演習	環境のさまざまな危険因子を避け、また他者を傷害しないようにする技術3 滅菌物の取り扱い(滅菌手袋の装着, 衛生材料の取り扱い)	レポート	基礎看護学	釜谷助教, 松井教授, 杉森講師,宮永講師, 白藤助手
9	前	9	5月15日	(水)	1	演習	環境のさまざまな危険因子を避け、また他者を傷害しないようにする技術4 感染成立の基礎的内容感染予防の基本:スタンダードプリコーション		医療安全部	西岡主任
10	前	10	5月15日	(水)	2	講義	環境のさまざまな危険因子を避け、また他者を傷害しないようにする技術5 感染成立の基礎的内容感染予防の基本:スタンダードプリコーション		医療安全部	西岡主任
11	前	11	5月22日	(水)	1	講義	環境のさまざまな危険因子を避け、また他者を傷害しないようにする技術6 感染経路別予防策		看護部	日向師長
12	前	12	5月22日	(水)	2	講義	環境のさまざまな危険因子を避け、また他者を傷害しないようにする技術7 滅菌, 消毒, 洗浄		看護部	中川看護師
13	前	13	6月11日	(火)	1	講義	病理的状态:治療としての薬物投与1 与薬の基礎知識、看護師の役割		基礎看護学	松井教授
14	前	14	6月11日	(火)	2	講義	病理的状态:治療としての薬物投与2 筋肉内注射①		基礎看護学	松井教授
15	前	15	6月12日	(水)	1	講義	病理的状态:治療としての薬物投与3 筋肉内注射②:薬液の吸い上げ/注射方法の実際(課題)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師, 杉森講師,釜谷助教, 白藤助手

第2学年

基礎看護技術論Ⅲ

16	前	16	6月12日 (水)	2	演習	病理的状态:治療としての薬物投与4 筋肉内注射②:薬液の吸い上げ/注射方法の 実際(課題)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師, 杉森講師,釜谷助教, 白藤助手
17	前	17	6月17日 (月)	1	演習	病理的状态:治療としての薬物投与5 (筋肉内注射③)モデルを使った筋肉内注射 の実際/与薬の種類と方法(課題)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師, 杉森講師,釜谷助教, 白藤助手
18	前	18	6月17日 (月)	2	演習	病理的状态:治療としての薬物投与6 (筋肉内注射③)モデルを使った筋肉内注射 の実際/与薬の種類と方法(課題)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師, 杉森講師,釜谷助教, 白藤助手
19	前	19	6月19日 (水)	1	演習	病理的状态:データを得るための検査1 検査・処置の介助、静脈血採血①		基礎看護学	宮永講師
20	前	20	6月19日 (水)	2	講義	病理的状态:データを得るための検査2 静脈血採血②(シリンジの取り扱い等)		基礎看護学	宮永講師
21	前	21	6月26日 (水)	1	講義	病理的状态:データを得るための検査3 静脈血採血③(駆血帯巻き方、血管選定等)/ 検体検査の種類と方法(課題)		基礎看護学	宮永講師,松井教授, 杉森講師,釜谷助教, 白藤助手
22	前	22	6月26日 (水)	2	演習	病理的状态:データを得るための検査4 静脈血採血③(駆血帯巻き方、血管選定等)/ 検体検査の種類と方法(課題)	レポート	基礎看護学	宮永講師,松井教授, 杉森講師,釜谷助教, 白藤助手
23	前	23	7月01日 (月)	1	演習	病理的状态:データを得るための検査5 静脈血採血④ (モデルを使ったシミュレーション)/静脈血採 血に関する課題	レポート	基礎看護学	宮永講師,松井教授, 杉森講師,釜谷助教, 白藤助手
24	前	24	7月01日 (月)	2	演習	病理的状态:データを得るための検査6 静脈血採血④ (モデルを使ったシミュレーション)/静脈血採 血に関する課題	レポート	基礎看護学	宮永講師,松井教授, 杉森講師,釜谷助教, 白藤助手
25	前	25	7月03日 (水)	1	演習	患者の排泄を助ける技術1 排尿を促す援助、一時的導尿	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授, 宮永講師,杉森講師, 白藤助手
26	前	26	7月03日 (水)	2	講義	患者の排泄を助ける技術2 排便を促す援助技術、浣腸、摘便	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授, 宮永講師,杉森講師, 白藤助手
27	前	27	7月08日 (月)	1	演習	患者の排泄を助ける技術3 グリセリン浣腸/一時的導尿	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授, 宮永講師,杉森講師, 白藤助手
28	前	28	7月08日 (月)	2	演習	患者の排泄を助ける技術4 グリセリン浣腸/一時的導尿	レポート	基礎看護学	釜谷助教,松井教授, 宮永講師,杉森講師, 白藤助手
29	前	29	8月28日 (水)	1	講義	自分の信仰に従って礼拝する 看取りの看護	レポート	基礎看護学	松井教授
30	前	30	8月28日 (水)	2	講義	患者の補助としての診療補助 健康援助技術のまとめ		基礎看護学	松井教授,宮永講師, 杉森講師,釜谷助教, 白藤助手